

令和6年度第3回国立市保健センター運営審議会 記録（要約）

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 令和7年3月28日（金） 午後1時15分から午後1時45分まで |
| 場 所 | 国立市保健センター 3階 会議室 |
| 出席委員 | 7名 行定委員、佐藤委員、下平委員、高柳委員、小鷹委員、 安江委員、多摩立川保健所角田市町村連携課長（土方委員 代理） |
| 欠席委員 | 2名 辛島委員、関田委員 |
| 傍 聴 | 0名 |
| 事 務 局 | 11名 葛原部長、橋本室長、加藤課長、前田課長、齋藤室長補佐、 村井係長、浪越主査、藤原係長、川島主査、若松主査 |
| 議 題 | (1) 令和7年度健康まちづくり戦略室事業予算について (2) 令和7年度子育て支援課事業予算について (3) その他 |

令和6年度 第3回国立市保健センター運営審議会

【行定会長】定刻になりました。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。
ございます。

出席委員が過半数に達しておりますので、令和6年度第3回国立市保健センター運営審議会を開催いたします。

なお、辛島委員、関田委員からは本日欠席の連絡をいただいております。多摩立川保健所の土方委員の代理として、市町村連携課長の角田様にご出席いただいております。

本日は保健センターの令和7年度予算について審議いただきますが、1時間程度を目安に審議を進めていきたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、議事の円滑な運営にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

はじめに、事務局より資料の確認をお願いいたします。

【浪越主査】

配布資料の確認を行った。

【行定会長】 それでは議事を進めてまいります。

(1) 令和6年度健康まちづくり戦略室事業予算について

事務局より説明願います。

【齋藤室長補佐】

資料に基づき説明を行った。

【村井係長】

くにたち健康ポイント事業について、資料に基づき説明を行った。

【行定会長】 説明が終わりました。質問等ありましたら、お願いします。

【多摩立川保健所】 くにたち健康ポイント事業で、実施前後での効果の分析検証は、どのように出されるのでしょうか。

【村井係長】 令和6年度から開始しましたので、3年目の令和8年度までこの事業を継続した場合に、令和8年度に分析を予定しております。

対象は参加者のうち国民健康保険にお入りの方、後期高齢者医療制度にお入りの方のみとなってしまいますが、参加前・参加後で医療費・介護給付費に適正化の効果があつたかを分析する予定になっており、分析の結果については公表したいと思っております。

【小鷹委員】 くにたち健康ポイントですが、令和6年度の課題として後期高齢者の参加が5%程度で少なかったとご説明にありましたが、何%位を目標にされていきましたか。

【村井係長】 全体の15%を目標にしておりました。

【下平委員】 後期高齢者の参加率を上げるために次回は年代ごとの枠を設けるということですか。

【村井戦略室長】 はい。今年度は1年目ということもあり、18歳以上という

形で、年代等の申込区分を設けずに、アプリでの申し込みとさせていただきます。

そうしたところ募集の開始から定員に達するのが早かったため、もう少しゆっくり申し込みをしたかった年代の方を考慮して、令和7年度は年代別の申込区分を設けます。

また、スマートフォンを持っていない方も参加できるように、活動量計という物も100台用意しておりますので、できるだけ後期高齢者の方にも申込みいただけるように準備をしております。

【高柳委員】健康増進計画の意識実態調査について、質問項目は何かを参考に作ったのですか。

【加藤課長】この調査の質問項目は令和元年度に第2次健康増進計画の中間評価で行った調査と質問項目を揃えたものがほとんどになります。

令和元年度、またその前の調査と同じ質問もありますので、経年で比較する目的があります。

国民生活栄養調査から同じ質問を持ってきているものですか、東京都が地域参加について行っている調査がありまして、そこから同じ質問を持ってきているものもありますので、それらとの比較もできると思います。

あとは、本人の主観的な歩行速度についてです。同じ年代の人と比べて自分は歩くのが速いと思うかどうか、という質問が全国的に多くの自治体で調査されていますので、他の自治体と比較したいと考えております。

【行定会長】他にいかがでしょうか。ないようでしたら、次の議題をお願いします。

(2) 令和7年度子育て支援課事業予算について

【藤原係長】

資料に基づき説明を行った。

【若松主査】

□ 産後ケア事業について、資料に基づき説明を行った。

【行定会長】こちらの産後ケア事業は少子化対策事業の一環かと思いますが、この事業は、国立市独自の事業でしょうか。

【若松主査】東京都下を含めて、全国的に行われている事業です。

【下平委員】ショートステイ、デイサービス、アウトリーチとありますが、このようなサービスを行う産後ケアについてのプロフェッショナル的な職種があるのですか。

【若松主査】助産師ですとか、看護師も対応しておりますし、育児の方では保育士もサービスを行っております。

【下平委員】サービスに関して、規定などはあるのですか。

【若松主査】お泊りの場合は24時間必ず専門職がいることとか、そういった規定はございます。

【行定会長】他に質問や意見はありませんか。

【前田課長】補足で説明をさせていただきます。

産後ケアはもちろん少子化対策の事業ではあるのですが、当初は先行して国が調査研究をしておりますして、虐待予防の中で産後鬱が問題視されていた時期がありました。

産後鬱になりやすい時期に虐待のリスクが高まり起こりやすいということがありまして、そのようなことも踏まえて始まった事業です。

さらに今は核家族化という事もありまして、なかなか親族からの支援が難しかったり、特にコロナ禍では里帰りができない方が非常に多かったこともありました。

基本的に委託しているところは助産院とか、元々施設としてこのようなサービスについて整備されているところにデイサービスも担っていただいたりしております。

【行定会長】他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それではこれで今日の議題は以上になりますが、事務局の方からその他についてお願いいたします。

【加藤課長】 それでは審議会の令和 7 年度の日程について説明させていただきます。

審議会は年 3 回の開催を予定しております。令和 7 年度最初の日程としては、目安として 7 月頃開催したいと考えております。

改めて委員の皆様にはご案内させていただきたいと思います。また、何かご不明なことがありましたら保健センターまでご連絡いただければと思います。

【行定会長】 ありがとうございます。最後に皆さん何か質問とかなんでも結構ですのでありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

これを持ちまして令和 6 年度第 3 回国立市保健センター運営審議会を終了させていただきます。ありがとうございます。